

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【148】
2. 日時：令和2年4月7日 10時00分～11時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

皆川主任安全審査官※、秋本安全審査官、宇田川安全審査官※

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社 原子力設備管理部 設備技術グループマネージャ 他9名※

## 5. 要旨

- (1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性及びコリウムシールドの設計について、令和2年3月19日、3月25日及び本日の提出資料に基づき説明があった。
- (2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。  
【重大事故等時における原子炉格納容器の放射性物質閉じ込め機能健全性】
  - ウェル注水の注水口の位置を示すとともに、注水した場合の水の溜まり方を整理して説明すること。
- (3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

## 6. その他

関係資料：

- ・ 柏崎刈羽原子力発電所 指摘事項に対する回答整理表（工認）（原子炉格納容器の閉じ込め機能、コリウムシールド）